



優秀賞

(居室部門)

タイトル

第2の人生を創る住まい

タイプ

持家一戸建

講評

書道を教える施主夫妻にふさわしいイメージの居室。造作や建具の格子などが全体的にうまく調和している。白一色の平天井としたことが、民芸調でありながら暗くならず、広がりを感じさせる要因。照明の使い方も良い。

リフォーム前後の写真



リフォーム前



② リビング壁面は書道の作品を飾るギャラリースペースとした。



③ リビング内の仕事場コーナー。天井下がり壁の底面には浮作り仕上げの杉板を貼った。



④ 慣れ親しんだ床座スタイルに快適さを加え、畳コーナーは掘りコタツにした。建具は格子ガラス戸。底部には杉板を組み込んで部屋全体の統一感を演出した。

引退後の拠点づくり
仕事と夫婦のくつろぎを両立させる
民芸調の住まい



① サッシ内側には格子のデザイン障子、下がり壁には爆竹のパネルを貼って民芸調を演出した。

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

《リフォームの動機・要望》

- 1.書道を指導される夫婦の住まい。子供が独立して2人になったので、築31年経た建物を夫婦が快適に過ごせる住まいにしたい。現在のリビングを和室と一体化し、LD兼仕事空間にしたい。
- 2.床座に慣れ親しんでいるので、フローリングのLDの中には畳コーナーをつくりたい。
- 3.空間イメージは2人が好きな民芸調に仕上げたい。

《リフォームのポイント》

特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他(SOHO)

データ

所在地	埼玉県さいたま市	構造 / 築後年数	在来木造 / 30年
該当工事面積	22.77 m ²	該当部分工事費	400万円
居住者構成	2人(大人 15歳以上)	2人(子供)	人) ペット
設計者	(株)東急アメニックス	担当者	越阪部 仁・渡部 佳子
施工者	同上	担当者	

- 1.以前の増築により床に段差があったので、間仕切り変更とともにこれをなくしてワンルームの広いLDをつくった。この中に、書斎コーナー、畳コーナーを配置した。
- 2.既存和室の柱はそのままあらわにし、洋室の方は付柱、付長押、付鴨居に塗装仕上げをして和室と自然につながるようにした。柱は檜、長押は杉、障子は雲杉、間仕切りはガラス戸は雲杉に杉板を落とし込み、自然素材の味わいを生かした。
- 3.窓側には書斎机を置いて仕事場に。抜けない柱は杉板を4面貼って化粧柱とした。

リフォーム前



1:150

リフォーム後



1:150